

Ⅲ 調査票様式

平成25年度 福島県政世論調査 調 査 票

I 復興に関する情報発信について

福島県では、復興に関する情報を分かりやすくお伝えするため、復興について県民の皆さんにどのように情報が伝わっているかをお伺いし、今後の情報発信に役立ててまいります。

問1 震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- 1 復興へ向けた取り組み
- 2 除染の進捗などの状況
- 3 安心して子育てできる環境づくりへの取り組み
- 4 食品や農産物の安全性確保についての取り組み・モニタリング情報
- 5 放射線の健康への影響や健康管理に関する情報
- 6 被災者支援に関する情報
- 7 賠償
- 8 産業（工業、商業、農林水産業など）の復興に関する情報
- 9 特にない
- 10 その他（具体的に)

問2 本県の復興はどの程度進んだと感じていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。それを選んだ理由についても記入してください。

また、震災前を100として、何パーセントくらい進んだと感じるか、数字で記入してください。

- 1 自分の生活で復興を実感できるくらい進んでいると感じる
- 2 知人や被災者の方の話を聞いて、復興が進んでいると感じる
- 3 一部の地域や一部の分野で進んでいると感じる
- 4 直接の実感はないが、少しは進んでいると感じる
- 5 全く進んでいないと感じる
- 6 その他（具体的に)

上記の理由等

何パーセントくらい進んだと感じますか。 () パーセント

問3 本県の復興の状況に関する情報については主に何で入手していますか。
 あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | 新聞 |
| 2 | テレビ・ラジオのニュースなど |
| 3 | インターネット（行政以外のページ） |
| 4 | インターネット（県のホームページ、フェイスブック、ツイッターなど） |
| 5 | 県の広報（広報誌・テレビ・ラジオなど） |
| 6 | 市町村の広報（広報誌・テレビ・ラジオ、ホームページなど） |
| 7 | 国の広報（テレビ・ラジオ・印刷物、ホームページなど） |
| 8 | 行政以外の印刷物 |
| 9 | 口コミ |
| 10 | その他（具体的に _____) |

問4 あなたは、復興の状況を県の広報で見たことがありますか。
 (ア)～(コ)についてそれぞれ1～3の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

			よく見る	見たことがある	見たことがない
(ア)	広報誌	ふくしまから はじめよう。ゆめだより	1	2	3
(イ)	新聞	県政特集（福島民報・福島民友）	1	2	3
(ウ)	テレビ	キビタン G0（福島テレビ：毎週火曜日 21:54～22:00）	1	2	3
(エ)	テレビ	新生ふくしま（福島中央テレビ：毎週土曜日 16:55～17:00）	1	2	3
(オ)	テレビ	ふくしま調査隊（福島テレビ「サタふく」内：毎週土曜日 11:30～12:55）	1	2	3
(カ)	テレビ	ふくしま情報スクエア（福島中央テレビ「ゴジてれchu!」内：毎週火曜日 15:50～16:53）	1	2	3
(キ)	インターネット	県ホームページ	1	2	3
(ク)	インターネット	Facebook（フェイスブック）「ふくしまからはじめよう。」	1	2	3
(ケ)	インターネット	YouTube（ユーチューブ） 県公式チャンネル	1	2	3
(コ)	その他	（具体的に： _____)	1	2	3

問5 あなたは、県外の方に、福島県のどのようなことを伝えるべきだと思いますか。
 あてはまるもの3つまで○をつけてください。また、それらを選んだ理由があれば記入してください。

- | | | |
|----|---------------------------|---|
| 1 | 震災の被害の状況 | |
| 2 | 復興に向けてがんばる県民の姿、前向きな取り組み | |
| 3 | 震災後の応援に対する感謝の気持ち | |
| 4 | 再生可能エネルギーの導入推進などの先進的な取り組み | |
| 5 | 被災者の生活状況、被災者の声 | |
| 6 | 除染の進捗状況 | |
| 7 | 県内観光地等の放射線のモニタリング情報 | |
| 8 | 観光情報、来県の呼びかけ | |
| 9 | 県内外で開催される本県関係のイベント情報 | |
| 10 | 農産物や県産品の安全性について | |
| 11 | 特にない（理由： | ） |
| 12 | その他（具体的に | ） |

上記の理由等

II 心の健康について

心の健康を保つことは、人生を送る上でとても大切なことです。

しかし、震災や不況で不安やストレスを感じている方も多く、心の健康問題へ大きな影響を及ぼすことが懸念されています。

そこで、県民の皆さんの「心の健康」に関する意識や現状に関するご意見を伺い、今後の各種施策に役立ててまいります。

問6 あなたは心の健康について関心がありますか。
 あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 大変関心がある |
| 2 | ある程度関心がある |
| 3 | あまり関心がない |
| 4 | まったく関心がない |
| 5 | わからない |

問7 ふだん、気分が落ち込む、あるいは精神的に疲れていると感じることがありますか。
 あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|---|-----------|-----------|
| 1 | 頻繁に感じている | } (問7-1へ) |
| 2 | ときどき感じている | |
| 3 | あまり感じない | |
| 4 | まったく感じない | |
| 5 | わからない | |

(問7で、「1 頻繁に感じている」、または「2 ときどき感じている」とお答えの方にお尋ねします。)

問7-1 主にどのようなことが心の負担になりますか。

あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

- | | | |
|----|--------------------------------|---|
| 1 | 自分の健康のこと | |
| 2 | 家族の健康のこと (病気・介護) | |
| 3 | 経済的なこと (家計やローンなど) | |
| 4 | 仕事のこと (仕事がうまくできるか、自分にあった仕事かなど) | |
| 5 | 仕事がないこと | |
| 6 | 学校のこと (学業について、進路についてなど) | |
| 7 | 将来の生活のこと | |
| 8 | 親との関係 (接し方、かかわり方など) | |
| 9 | 子どもとの関係 (接し方、かかわり方など) | |
| 10 | 配偶者との関係 (接し方、かかわり方など) | |
| 11 | その他の家族、親戚との関係 (つきあい方、かかわり方など) | |
| 12 | 友達つきあいのこと | |
| 13 | 近所つきあいなど | |
| 14 | 職場や学校での対人関係 | |
| 15 | その他 (具体的に : |) |
| 16 | わからない | |

問8 心の健康について心配なことがある時、あなたは誰に相談しますか。

あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

- | | | |
|----|--------------------|---|
| 1 | 家族や親戚 | |
| 2 | 友人 | |
| 3 | 職場の同僚 | |
| 4 | 職場の上司 | |
| 5 | 学校の先生やスクールカウンセラーなど | |
| 6 | 地域の有識者 | |
| 7 | 相談機関等の専門家 | |
| 8 | その他 (具体的に : |) |
| 9 | 誰にも相談しない | |
| 10 | わからない | |

問9 心の健康について相談するため、どのような相談機関を利用したことがありますか。

あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

- | | | |
|---|------------------------------|---|
| 1 | 行政機関の相談窓口 (精神保健福祉センターや保健所など) | |
| 2 | 精神科や心療内科などの医療機関 | |
| 3 | カウンセリングなどを行う専門的民間機関 | |
| 4 | その他 (具体的に : |) |
| 5 | 相談したいが利用したことがない | |
| 6 | 相談する必要がないので利用したことがない | |

Ⅲ 救急医療について

福島県では、第六次医療計画や地域医療再生計画を策定し、地域の救急医療の充実に取り組んでいるところです。救急医療に対する県民の皆さんの意識についてお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

問 10 あなたが住んでいる地域の休日・夜間における医療体制は、どの程度整っていると思いますか。

あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1 安心して生活できるくらいに整っている |
| 2 だいたい整っている |
| 3 あまり整っていない |
| 4 まったく整っていない |
| 5 わからない |

(問 10 で「3 あまり整っていない」または「4 まったく整っていない」とお答えの方にお尋ねします。)

問 10-1 どのような点が整っていないと思いますか。

あてはまるもの いくつでも○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1 休日・夜間に診てくれる身近な診療所（医院）がない |
| 2 休日・夜間に診てくれる病院がない |
| 3 休日・夜間だと専門医に診てもらえない |
| 4 休日・夜間だと病院のスタッフが少ない |
| 5 どこに行けばよいかわからない |
| 6 その他（具体的に _____) |

(全員にお尋ねします。)

問 11 あなたが住んでいる地域の救急医療について、何を期待しますか。

あてはまるもの 3つまで○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 救急患者のいわゆるたらい回しをなくしてほしい |
| 2 急病のときに、搬送時間を短縮し、早く医師に診てほしい |
| 3 休日や夜間などの急病のときに受診可能な医療機関の情報がほしい |
| 4 休日や夜間などの救急診療体制をもっと充実してほしい |
| 5 医師の乗っている救急車（ドクターカー）や車内で高度な処置が行える救急車（高規格救急車）の整備をしてほしい |
| 6 その他（具体的に _____) |
| 7 特にない |

IV 農林水産業について

震災後の本県農林水産物や農山漁村に対する県民の皆さんの意識をお伺いし、今後の農林水産業の振興のための効果的な施策に役立ててまいります。

問 12 震災後、あなたが農林水産物の購入や食生活において、以下の行動のうち実践しているまたは実践したいと考えていることはありますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1 国産の食材を積極的に購入する |
| 2 県産の食材を積極的に購入する |
| 3 放射性物質の検査結果がわかるもののみ購入する |
| 4 ごはんを中心とした日本型食生活の実践 |
| 5 米を原料とするパンや麺など米粉製品を積極的に利用する |
| 6 食べ残しを減らすなど食品の廃棄を減らす |
| 7 その他（具体的に： _____) |

問 13 あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1 農山漁村の中で、地域の人々が働き、生活する場 |
| 2 食料を生産する場 |
| 3 多種多様な生物が生息できる環境としての役割 |
| 4 農林漁業の作業体験等を通じた教育の場 |
| 5 水資源のかん養や土砂崩れ・洪水などを防止する役割 |
| 6 伝統文化を保存・承継する役割 |
| 7 農山漁村の景観による癒し、レクリエーションの場 |
| 8 滞在型体験農園などの活用による二地域居住 |
| 9 その他（具体的に： _____) |

V 生物多様性について

福島県では、「自然と人が育む、生物多様性豊かな“ほっとする、ふくしま”」の実現を目指す「ふくしま生物多様性推進計画」の見直しを進めています。生物多様性に関する県民の皆さんの意識についてお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

（参考）生物多様性とは

いろいろな生物が存在している様子の中で、生態系の多様性、種における多様性、遺伝子の多様性など、各々の段階でさまざまな生命が豊かに存在することをいいます。

問 14 あなたは、「生物多様性」という言葉について知っていますか。

あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1 言葉も意味も知っている |
| 2 言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない |
| 3 言葉も意味も知らない |

問 15 震災前と比較して、あなたの周りの身近な自然環境はどのように変化しましたか。それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

	あてはまる	どちらかと言えばあてはまる	どちらとも言えない・わからない	どちらかと言えばあてはまらない	あてはまらない
ア 田んぼや畑、ため池などの身近な自然が減少した。	1	2	3	4	5
イ カエルや昆虫、魚、鳥などの身近な生きものが減少した。	1	2	3	4	5
ウ 雑木林などの里山が減少した。	1	2	3	4	5
エ 海の生きものが減少した。	1	2	3	4	5
オ 数が少ない、あるいは絶滅の恐れのある生きものがさらに減少した。	1	2	3	4	5
カ 農作物や住宅に被害を与える動物が増えた。	1	2	3	4	5
キ 外来生物など、これまで見たことがなかった動物や植物が増えた。	1	2	3	4	5

問 16 生物多様性を保全していくことは大切ですが、一方で東日本大震災からの復旧・復興に取り組む必要もあります。あなたはこのことについてどのようにお考えでしょうか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 復旧・復興事業に関わらず、人間の生活にある程度制約があっても、生物多様性の保全を最も優先する
2 まずは復旧・復興事業を優先するが、一定の目途が立った後は、人間の生活にある程度制約があっても、生物多様性の保全を優先する
3 復旧・復興事業に関わらず、人間の生活が制約されない程度に、生物多様性の保全を進める
4 人間の生活の豊かさや便利さを確保するためには、生物多様性の保全が失われてもやむを得ない
5 その他 ()
6 わからない

問17 あなたは、生物多様性に配慮したライフスタイルとして、これからどのようなことを行いたいと思いますか。

それぞれ1～4の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

	積極的に取り組みたい	機会があれば取り組みたい	どちらとも言えない・わからない	取り組みたいとは思わない
ア 旬のもの、地のものを選んで購入する。	1	2	3	4
イ 身近な生きものを観察したり、外に出て自然と積極的にふれあう。	1	2	3	4
ウ NGOやNPOによる自然保護活動や美化活動に参加する。	1	2	3	4
エ 行政機関による自然保護活動や美化活動に参加する。	1	2	3	4
オ 生きものを最後まで責任を持って育てる。	1	2	3	4
カ 環境に配慮した商品を優先的に購入する。	1	2	3	4
キ 自然や生きものについて、家族や友人と話し合う。	1	2	3	4
ク 節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化対策に取り組む。	1	2	3	4
ケ 家庭菜園等を始める。	1	2	3	4
コ 地域の気候・風土に培われた伝統的な文化・芸能活動に取り組む。	1	2	3	4

VI 地域社会の安全・安心（治安）について

震災後、治安情勢の変化により、県民の皆さんが抱えている安全・安心に関する意識や要望などを調査し、犯罪抑止対策や検挙活動等の効率的な推進に役立ててまいります。

問18 東日本大震災から2年余りが経過しましたが、現在あなたが住んでいる地域(仮設住宅・借り上げ住宅も含む)の治安は良いと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 良い → (問18-1へ)
2 悪い → (問18-2へ)
3 変わらない
4 わからない

(問18で、「1 良い」とお答えの方にお尋ねします。)

問18-1 良いと思う理由は何ですか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1 犯罪の被害に遭った人が身近にいない |
| 2 町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿を良く見かける |
| 3 パトカーや警察官の姿を良く見かける |
| 4 隣近所とのコミュニケーションが図られている |
| 5 犯罪発生ニュース等を聞かなくなった |
| 6 地域住民の防犯意識が高まった |
| 7 その他 () |

(問18で、「2 悪い」とお答えの方にお尋ねします。)

問18-2 悪いと思う理由は何ですか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 犯罪の被害に遭った人が身近にいる |
| 2 町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿を見かけない |
| 3 パトカーや警察官の姿を見かけない |
| 4 隣近所とのコミュニケーションが図られていない |
| 5 犯罪発生ニュース等をよく聞くようになった |
| 6 地域住民の防犯意識が希薄になった |
| 7 その他 () |

(全員にお尋ねします。)

問19 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 各種防犯研修会の開催 | 6 ラジオ放送による広報 |
| 2 警察官の訪問による具体的な助言活動 | 7 新聞の定期的な掲載 |
| 3 防犯広報紙の配布 | 8 携帯電話へのメール配信 |
| 4 県警察ホームページへの掲載 | 9 その他(具体的に) |
| 5 テレビ放映による広報 | 10 わからない |

問20 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 自分の住んでいる地域の犯罪情報 | 7 多発している犯罪の手口や傾向 |
| 2 市町村単位の犯罪情報 | 8 振り込め詐欺に関する情報 |
| 3 福島県全体の犯罪情報 | 9 来日外国人の犯罪情報 |
| 4 全国の犯罪傾向 | 10 インターネットに関する犯罪情報 |
| 5 学校や幼稚園周辺の犯罪情報 | 11 防犯設備・防犯グッズ等の情報 |
| 6 少年非行の現状 | 12 その他 () |

問21 震災から1日も早く復興し、安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。
あてはまるもの**3つまで○**をつけてください。

- 1 犯罪の検挙活動
- 2 犯罪の抑止活動
- 3 パトロール等街頭活動（被災地等における活動を含む。）
- 4 巡回連絡（家庭等の訪問活動）
- 5 緊急事案に対する迅速な対応
- 6 交通取締り等の交通事故の抑止活動
- 7 犯罪・事故被害者に対する支援
- 8 事件・事故に関する情報発信
- 9 警察安全相談の充実
- 10 意見・要望への的確な対応
- 11 防犯・交通ボランティア等の結成、活動への支援
- 12 津波被害等で行方不明となった方々の捜索活動
- 13 仮設住宅、借上住宅の設置等で生じた交通危険箇所等改善対策
- 14 その他（ ）
- 15 特にない

問22 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。あてはまるもの**3つまで○**をつけてください。

- 1 殺人、強盗等の凶悪犯罪
- 2 空き巣や車上ねらい、自転車盗などの街頭犯罪
- 3 子どもに対する声かけやいたづら
- 4 強姦、強制わいせつ、痴漢等の性的犯罪
- 5 振り込め詐欺や悪質商法など
- 6 少年犯罪
- 7 児童買春・児童ポルノ等の少年の福祉を害する犯罪や児童虐待
- 8 DV（ドメスティックバイオレンス＝配偶者間暴力）やストーカー犯罪
- 9 違法な貸付などのヤミ金融事犯
- 10 インターネットを利用したサイバー犯罪
- 11 飲酒運転、ひき逃げ又は暴走行為などの悪質・危険な交通法令違反
- 12 暴力団等による組織犯罪
- 13 外国人犯罪グループによる犯罪
- 14 公務員等による汚職事件
- 15 麻薬、覚せい剤の売買、乱用などの薬物犯罪
- 16 不法投棄などの環境犯罪
- 17 銃器の使用・所持・密輸・密売などの銃器犯罪
- 18 東日本大震災の被災地における各種犯罪
- 19 その他（ ）
- 20 特にない

VII 安全で安心な県づくりについて

福島県では、「福島県安全で安心な県づくりの推進に関する条例」に基づき、真に安心できる暮らしの実現に向けて各種施策を行うこととしています。県民の皆さんは「安心」をどのように実感しているのかについてお伺いし、今後の安全・安心に関わる各種施策に役立ててまいります。

問23 次にあげた（ア）～（ク）の項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。それぞれ1～5の中であてはまるもの**1つに○**をつけてください。

	はい	どちらかと言えば「はい」	どちらとも言えない・該当しない	どちらかと言えば「いいえ」	いいえ
ア あなたの暮らす地域は、自然災害や大規模な火事災害などに対して、安心して暮らせる災害に強い地域だと思いますか。	1	2	3	4	5
イ あなたの暮らす地域は、犯罪がなく安心して暮らせる地域だと思いますか。	1	2	3	4	5
ウ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。	1	2	3	4	5
エ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5
オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。	1	2	3	4	5
カ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。	1	2	3	4	5
キ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5
ク あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。	1	2	3	4	5

※ 平成23年3月11日に発生した東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所事故に伴い避難されている方につきましては、「あなたの暮らす地域」について、以下により回答してください。
 ・福島県内に避難されている方 → 現在お住まいの地域の状況を回答してください。
 ・福島県外に避難されている方 → 避難する前に住んでいた地域の状況を回答してください。

VIII 県総合計画について

福島県では、東日本大震災からの復興と新生ふくしまの創造に向けて、県の最上位計画である総合計画の見直しを行い、「ふくしま新生プラン」を策定しました。

計画の取組に関連した以下の項目について、県民の皆さんの考えをお聞きし、総合計画の評価・検討に活用してまいります。

問24 次にあげた（ア）～（ス）の項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。それぞれ1～5の中であてはまるもの**1つに○**をつけてください。

	はい	どちらかと言えば「はい」	どちらとも言えない・該当しない	どちらかと言えば「いいえ」	いいえ
ア あなたは、福島県内で子育てを行いたいと思えますか（あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います）。	1	2	3	4	5
イ あなたは、福島県の教育環境に満足していますか（あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います）。	1	2	3	4	5
ウ あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか（鑑賞を含む）。	1	2	3	4	5
エ あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。	1	2	3	4	5
オ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思えますか。	1	2	3	4	5
カ 県は、原子力災害の被災地域の復興・再生に向けて、十分な取組を行っていると思えますか。	1	2	3	4	5
キ あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。	1	2	3	4	5
ク 県内には、あなたが魅力を感じる企業がありますか。	1	2	3	4	5
ケ あなたは、日常生活で、再生可能エネルギー（太陽光など）の利用を進めたいと思えますか。	1	2	3	4	5
コ あなたは、現在の職業や仕事に満足していますか。	1	2	3	4	5
サ あなたには、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元の資源（自然、特産品、観光、文化など）がありますか。	1	2	3	4	5
シ あなたの住む地域は、交通ネットワークや情報基盤が十分に整備された地域ですか。	1	2	3	4	5
ス あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。	1	2	3	4	5

	はい	どちらかと言えば「はい」	どちらとも言えない・該当しない	どちらかと言えば「いいえ」	いいえ
セ あなたの住む地域は、身近なところで、必要な医療を受けることができる地域ですか。	1	2	3	4	5
ソ あなたの住む地域は、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができる地域ですか。	1	2	3	4	5
タ あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5
チ あなたの生活空間は、放射線から安心して暮らすことができる空間ですか。	1	2	3	4	5
ツ あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか。	1	2	3	4	5
テ あなたの住む地域では、女性の社会参画が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
ト あなたは、日頃、人と人の支え合いや絆を実感していますか。	1	2	3	4	5
ナ 福島県は、自然が豊かで、美しい景観を有する県であると思いますか。	1	2	3	4	5
ニ あなたは、日頃、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取組を行っていますか。	1	2	3	4	5

◆ このページの質問は、アンケートにお答えいただいた内容を統計的に分析するために
お尋ねするものです。最後までご協力をお願いします。

あなたご自身についてお答えください。

F 1 あなたの性別をお知らせください。

1 男	2 女
-----	-----

F 2 あなたの満年齢をお知らせください。（平成25年8月1日現在）

1 15～19歳	5 35～39歳	9 55～59歳
2 20～24歳	6 40～44歳	10 60～64歳
3 25～29歳	7 45～49歳	11 65～69歳
4 30～34歳	8 50～54歳	12 70歳以上

F 3 あなたの現在のご職業は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
(複数の職業をお持ちの方は、主とするもの1つに○をつけてください)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 農・林・漁業（農業・林業・漁業の自営者、家族従業者） |
| 2 商・工・サービス業（小売店・飲食店・理髪店などの自営者、家族従業者） |
| 3 自由業（開業医・弁護士・芸術家・茶華道の師匠などの自営者、家族従業者） |
| 4 管理職（民間会社・官公庁の課長級以上） |
| 5 事務職・専門技術職（事務職員・教員・技術者など） |
| 6 技能職・労務職（技能工・販売店員・外交員など） |
| 7 パートタイマー・アルバイト・フリーター・嘱託など |
| 8 専業主婦・主夫 |
| 9 学生・生徒 |
| 10 その他（具体的に： _____) |
| 11 無職 |

F 4 あなたがお住まいの市町村名をご記入ください。

（一昨年の震災の影響により現在避難している方は、避難する前の市町村名）

（市・町・村）

お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒をお使いのうえ、
9月4日（水）までに、切手を貼らずに郵便ポストに投函して
ください。